

令和6年度 主な事業実績

1 誘客体制整備事業

(1) 国東半島宇佐地域の観光・宿泊施設の状況整理とリスト化

内 容：認定地域内の観光・宿泊・体験・食事等の誘客にかかる情報の整理・一元化を実施。令和6年度内に完成予定。

委託先：(一社) 豊の国千年ロマン観光圏

(2) 観光モデルルートの作成

内 容：認定地域を巡る観光モデルルート5コースを作成。展示会や商談会で各コースを説明する資料もあわせて作成する。令和6年度内に完成予定。

委託先：(一社) 豊の国千年ロマン観光圏

(3) ツーリズム商談会

日 程：令和6年10月22日(火)

内 容：県内外観光事業者とのマッチング商談会。9社と面談し、世界農業遺産の内容や観光ポイントについての説明・PRを実施。



商談会の様子

(4) GIAHS ガイド育成研修

教育旅行プログラムや体験素材集プログラム実施時の世界農業遺産全般と各体験プログラムの説明ができるガイドを育成するため、研修会を実施。

<第1回>

日程：令和6年12月10日(火)／参加者：10名

内容：阿蘇地域の世界農業遺産認定・取組を学ぶ
阿蘇地域視察

<第2回>

日程：令和6年12月20日(金)／参加者：10名

内容：「世界かんがい施設遺産」広瀬井路を歩くフットパス

<第3回>

日程：令和7年3月10日(月)／参加者：10名

内容：世界農業遺産と農耕文化（修正鬼会）について



研修会の様子

(5) 英国での世界農業遺産・七島蘭 PR イベント

ロンドンにある日本文化発信拠点「ジャパン・ハウス」にてトークショーと七島蘭しめ縄づくりのワークショップを実施し、国東半島宇佐地域の世界農業遺産や関連する観光・体験素材を PR した。

日程：令和 6 年 7 月 25 日(木)～7 月 28 日(日)

場所：ロンドン、ケンブリッジ

参加者：383 名(うちオンライン 204 名)



ロンドンでのトークショー

2 魅力発信・販路開拓支援事業

大分県のフラッグシップ「坐来大分」を活用し、世界農業遺産や地域産品の魅力を PR することにより、認証品や応援商品の販路開拓・拡大につなげた。

また、七島蘭ワークショップでは、推進協議会の林会長と七島蘭工芸作家 岩切氏が講師として参加した。

〈坐来大分メニューフェア〉

日程：令和 6 年 11 月 1 日(金)～29 日(火)

場所：坐来大分(東京都千代田区有楽町)

使用食材：姫だこ(姫島)、オリーブ(国東)、クロダマル(宇佐)等

来客数：ランチ 525 名、ディナー1,257 名



世界農業遺産メニューの一例

〈坐来大分 七島蘭ワークショップ〉

日程：令和 6 年 11 月 9 日(土)

場所：坐来大分(東京都千代田区有楽町)

講師：推進協議会 林 浩昭会長、

七島蘭工房ななつむぎ 岩切 千佳氏

参加者：14 名



七島蘭ワークショップの様子



林会長による講演の様子

3 広域連携共同事業

国内の認定地域が共同で事業を行うことで、相乗効果による農業遺産の認知度向上や交流人口の拡大、地域産品の販売促進を促すとともに、農業遺産の認定効果の更なる向上を図るため、東京で開催された「農業遺産フェア」へのブース出展及び、九州の認定地域である熊本・宮崎・大分の 3 地域共同による「九州 3 県農業遺産フェア」を開催した。

〈農業遺産フェア〉

日程：令和6年11月20日(水)

会場：二子玉川ライズ（東京都）

内容：農水省が主催する、農業遺産PRイベントにて
展示等による情報発信を実施。



農業遺産フェア

〈九州3県農業遺産フェア〉

日程：令和7年1月18日(土)

場所：イオンモール宮崎

内容：農林水産物・加工品の販売、パネル展示、
クイズ抽選会等

日出町のみかん、ぎんなん、トマトを販売



九州3県農業遺産フェア

4 地域活力支援事業

農耕文化の保全・継承や地域づくり活動の促進を図るため、農耕に関係する伝統芸能の保存や世界農業遺産を活用した地域の自主的な活動等を行う団体に対して支援を行った。これらの支援を通じて、地域の活動団体との連携を強化するとともに、幅広い情報発信が期待できる。

〈採択件数：10件（申請件数：10件）〉

- ・俣水神楽保存会(杵築市)
- ・どぶろく祭り振興委員会(杵築市)
- ・荘園の里推進委員会(豊後高田市)
- ・荘園ほたる(豊後高田市)
- ・森の駅かしのき山奥の細道を楽しむ会(杵築市)
- ・雅設置プロジェクト佐田の郷の会(宇佐市)
- ・くにさき七島蘭振興会(国東市)
- ・荒木川流域プロジェクト実行委員会(国東市)
- ・くにさき農産物直売所連絡協議会(国東市)
- ・七島イ WAnoWA(国東市)



どぶろく祭り幟製作



環境図書館の整備

5 認定市町村支援事業

認定市町村による取組の拡大を図るため、世界農業遺産を活用した事業に対する支援を行った。市町村と世界農業遺産のPRを併せて行うことで、より効果的な周知活動を実施できた。

〈実施内容〉

豊後高田市：世界農業遺産の郷「田染地区」環境整備事業

宇佐市：両合棚田地域創生プロジェクト

国東市：大分空港での七島イ PR イベント、横断幕改修

日出町：都市圏への魅力発信、食育及び地産地消推進事業



七島イ PR イベント

6 次世代継承教育事業

(1) 小学生向け教材本(マンガ本)の配布

世界農業遺産を分かりやすく勉強し、郷土の持つ魅力に興味関心を持ってもらうため、小学生向け教材本(マンガ本)を認定地域内の全小学校 59 校の 5 年生(1,185 名)に配布し、各学級で授業を行い、次世代への継承の取組を行った。



マンガ本

(2) 小学生向け作文コンクール

認定地域内の小学校 5 年生及び 6 年生を対象に作文コンクールを実施した。

入賞作品集は協議会ホームページや教育庁ホームページに掲載予定。

応募点数：23 校・83 点(入賞 6 点)

最優秀賞作品：「昔と今」(国東市立富来小学校 5 年 森 安奈)

(3) 中学校特別授業

世界農業遺産パンフレットを認定地域内の中学校の 1～2 年生(1,250 名)に配布し、学校ごとに、地域の農業従事者や行政関係者などを講師とした特別授業を実施することで、次世代への継承の取組を行った。

(4) 乾しいたけ生産・PR 体験学習

複数年にまたがる乾しいたけ生産の一連の流れを体験し、PR 活動することで、乾しいたけに対する理解を深めてもらうことを目的に令和 3 年度から実施。

令和 5 年度に乾しいたけのほだ起こし、ほだ場づくりを体験した小学生を対象に乾しいたけの PR(販売)体験実施。

〈国東市立安岐小学校〉

駒打ちした木からしいたけができなかったため体験未実施(報告書のみ)

〈宇佐市立津房小学校〉

実施者：6 年生 4 名

日程：令和 6 年 11 月 19 日(火)

収穫→選別→袋詰め→販売→料理体験



袋詰めの様子

〈豊後高田市立田染小学校〉

実施者：6年生8名

日 程：令和6年6月3日(月)

令和6年6月24日(月)

令和6年6月27日(木)

令和6年11月7日(木)

袋詰め→修学旅行や学校記念式典にて

栽培した乾しいたけを配布しPR



直売所でのPRの様子

7 高校生聞き書き事業

世界農業遺産に認定された郷土の価値、すばらしさを感じてもらうため、認定地域内8校の高校生が、農業従事者などの「地域の名人」を訪ね、その知恵や工夫、思いなどをインタビューして取りまとめる「聞き書き」を平成26年度から継続実施している。

また、令和5年度に「聞き書き」を実施した生徒による体験発表会を開催し、修了証の授与式を執り行った。

〈令和6度聞き書き〉

実施者：生徒92名(13校25チーム)、

名人25名(農業、林業、水産業等)

内 容：研修会(2回)、名人へのインタビュー

(2回程度)、文章の書き起こし

作品集の作成・配布



研修会の様子

〈聞き書き発表会(令和5年度聞き書き実施校)〉

日 時：令和6年7月9日(水)13:00~16:10

場 所：アストくにさき アストホール

参加者：会場参加 約300名、国東高校全1年生参加

発表校：高田高校、宇佐高校、安心院高校、別府翔青高校、日出総合高校

宇佐産業科学高校、大分舞鶴高校、杵築高校、大分上野丘高校、国東高校



生徒による発表の様子



インタビューの様子

8 高校生フィールドワーク事業

より多くの若年層にアプローチするため、今まで関わったことのない県内の高校を対象に国東半島宇佐地域フィールドワークを実施。東明高校新聞部も参加し、農業遺産特集記事を作成。

〈大分東明高等学校〉

参加者：特進コース2年生28名（うち新聞部7名）

日 程：令和6年12月11日（水）

内 容：ため池学習（旭日地区公民館）、七島蘭学習（七島蘭学舎）



ため池学習



七島蘭学習



東明高校新聞記事

9 大学連携魅力発信事業

別府大学と連携し、世界農業遺産体験学習の単元化や大分農業文化公園と協力のPR活動を行った。学習成果の発表や大学の特色を生かした活動、広報活動を行うことで将来を担う若い世代が世界農業遺産の価値や地域について学び、その魅力を発信した



農林水産祭でのPRの様子

10 農林水産業システムを補完するための調査研究事業

(1) モニタリングの助言事項に基づく調査研究

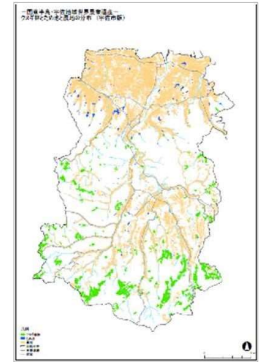
令和3年度に実施した農林水産省専門家会議によるモニタリングの助言事項に基づく学術的データの補完を図るため、調査研究を実施した。

① 認定地域における生物調査

実施者：(一財)日本造園修景協会大分県支部

内 容：「クヌギ林とため池がつなぐ農林水産循環」を具現化する一助として、国東半島宇佐地域世界農業遺産の寄藻川流域における生物調査結果と GIAHS 要素との関連性についての考察をする。また、将来的に寄藻川流域に位置する諸団体が本調査の成果等を活用した活動を行えることを目指す。

対 応：助言事項内「(一部抜粋)農林水産業システムを包括的かつコンパクトに表わしている地区等を調査・検証」への対応。



寄藻川が流れる宇佐市

(2) 保全・活用のための調査研究

協議会有識者で構成する「国東半島・宇佐 GIAHS 専門家会議」による研究テーマ及び実施方法の決定による調査研究を実施。(3 件)

① 本地域における放置里山林の再生をめざす『薬草・薬木図鑑』作成のための連携・協働による実践研究とその応用

実施者：NPO 法人 日本森林保健学会 会長 上原 巖

(東京農業大学 森林総合科学科 教授)

内 容：地元ネットワークで作成した薬草図鑑を叩き台に、追加項目を専門家(日本森林保健学会)との連携・協働研究により更新することで、より正確で応用が利く図鑑を作成し、本協議会 HP に掲載する。

また、全国分布の視点により薬草項目を追加・編集し、全国対象図鑑を発行する。

② 国東 GIAHS 地域の景観管理に向けた社会関係資本の構築

実施者：立命館アジア太平洋大学サステイナビリティ観光学部

ヴァファダリ カゼム 教授

内 容：令和 5 年度の事業で選定したモデルサイトにて景観管理に向けたイベントを実施し、地域の社会関係資本を構築する。また、国東 GIAHS 地域全体の景観管理を図るべく、モデルサイトにおける活動実績や教訓の文書化と国東 GIAHS 地域全体の竹藪に関する情報のデータベース化を実施し、社会関係資本の構築に向けた基盤を整える。

③ 国東半島の郷土食に関する調査について

実施者：大分朝日放送 ビジネス戦略局長 橋本 英子 氏

内 容：対象地域に伝わる郷土食や地域産品を活用した料理を、資料や文献から整理する。また、地域住民へのインタビューを通してレシピの掘り起こしを行い、動画と写真に収め、今後の伝承方法を検討する。

11 デジタルマーケティング推進事業

県内若年層の認知度向上を図るため、ターゲット世代がよく利用する SNS（Instagram）を活用した情報発信を行った。

(1) 定期的な情報発信による Instagram アカウントの育成

世界農業遺産に関連する情報を月 8 本ペースで投稿（4/1～1/31 78 本投稿）

実績：フォロワー数 880→2,013（令和 6 年 2 月から 1,133 人増）R7.2 月 7 日時点

(2) 広告動画の制作

キャンペーン企画を実施し、フォロワーの獲得を図った。

- ・令和 6 年 10 月 乾しいたけ料理コンテスト募集（1.3 万ビュー）
- ・令和 6 年 12 月 クリスマスプレゼント企画（7,290 ビュー）
- ・令和 7 年 1 月 新春お年玉プレゼント企画（4,646 ビュー）R7.1 月末時点

(3) 他事業との連携

聞き書き現地取材の様子動画を投稿

（原木椎茸栽培、キウイ栽培、水稻栽培、ワイン工房など計 7 本）



投稿例



広告動画

12 PR 動画制作事業

世界農業遺産認定 10 周年を記念し、PR 動画制作を開始した。

イベントや SNS で魅力を効果的に発信できるような、ため池がもたらす水の循環とクヌギ林を中心に育まれた農林水産業や文化を映像に収めた PR 動画を制作。



動画の 1 コマ

13 情報発信事業

アクロス福岡の展示企画や大分トリニータホームゲーム、大分県農林水産祭等の機会を捉えて、パネル展示やパンフレット配布、七島蘭ミサンガづくりのワークショップを行い、世界農業遺産のPRを行った。

また、農業遺産のイベントと合わせて、海づくり大会のポスター展示やノベルティを配布することによって海づくり大会のPRも行った。

〈アクロス福岡の展示企画出展〉

日程：令和6年8月5日(月)～令和6年8月11日(日)

場所：アクロス福岡1階コミュニケーションエリア

実績：SNS フォトコンテスト入賞作品展示、PRグッズの配布

七島蘭ミサンガづくりワークショップ体験人数 160 名

海づくり大会ポスター展示・パンフレット等配布

ワークショップ講師：七島蘭工房ななつむぎ 岩切 千佳氏



展示・ワークショップの様子

〈大分トリニータホームゲームブース出展〉

日程：令和6年9月7日(土)

場所：レゾナックドーム大分(大分市横尾 1351)

実績：七島蘭ミサンガづくりワークショップ体験人数 154 名

海づくり大会ポスター展示・パンフレット等配布

ワークショップ講師：七島蘭工房ななつむぎ 岩切 千佳氏



ブース出展の様子

〈大分県農林水産祭おおいのりフェスタ出展〉

日程：令和6年10月19日(土)～令和6年10月20日(日)

場所：別府公園(別府市野口原)

実績：SNS フォトコンテスト入賞作品展示、

ノベルティの配布、七島蘭織機の実演

海づくり大会パンフレット等配布

協力：くにさき七島蘭振興会



出展の様子



海づくり大会ノベルティ配布



海づくり大会ポスター展示



14 その他

(1) 第43回全国豊かな海づくり大会～おんせん県おおいた大会～

大分市で開催された第43回全国豊かな海づくり大会において、七島蘭コースターが公式ノベルティとして採用され、参加者に配布された。

〈日程〉 令和6年11月10日(日)

〈会場〉 iichiko グランシアタ

(2) 第8回東アジア農業遺産学会

日中韓で設立された学術交流と農業遺産認定地域の交流を目的とする学会。研究者のみならず、農業遺産認定地域の行政担当者や農業関係者などが参加した。

当協議会より、立命館アジア太平洋大学のヴァファダリカゼム教授が発表を行った。

〈日程〉令和6年8月8日(木)～8月9日(金)

〈場所〉岐阜県



学会の様子

(3) ロマンسカーミュージアムでのPRイベント

県観光局と連携し、神奈川のロマンсカーミュージアムでの大分県PRイベントにて農業遺産関係の展示を実施。

〈日程〉 令和6年8月17日(土)～8月18日(日)

〈場所〉 ロマンсカーミュージアム(神奈川県)



ロマンсカーミュージアム

(4) 福岡の観光イベント「女子旅 EXPO」

県福岡事務所と連携し、女性を対象とした観光イベントにて農業遺産関連の情報発信を実施。

〈日程〉 令和6年9月14日(土)

〈会場〉 電気ビルみらいホール(福岡県)



女子旅 EXPO

(5) 大分県産品展示商談会

県内外のバイヤーとの商談会にて、農業遺産及び認定地域の特産品についての展示・PRを実施。

〈日程〉 令和7年1月15日(水)

〈会場〉 ビーコンプラザ(別府市)

〈展示商品〉 荘園米、ボタンボウフウ商品(豊後高田市)



展示商談会

(6) 大分県公式オンラインショップ

県公式オンラインショップ運営事業者へ、農業遺産応援商品の取扱いを提案。来年度からの出品に向け現在調整中。

〈提案商品〉 荘園米（豊後高田市）



県公式オンラインショップ

(7) JR クルーズトレイン「ななつ星」との連携

J R 九州が運行するクルーズトレイン「ななつ星 in 九州」の雲仙コース（3泊4日）にて、4日目金曜日に世界農業遺産探訪エクスカーションが実施された。

杵築駅での停車中、車内では七島蘭WS、ホームでマルシェを開催。

〈時期〉 9月～12月 田染荘ミニトレッキング、富貴寺瞑想体験

1月～2月 しいたけ収穫、茶の湯炭体験

計13回

(8) しごと能力研究学会での世界農業遺産講演

大分市で開催されたしごと能力研究学会において、世界農業遺産についての講演を実施。

〈日程〉 令和6年9月22日（日）

〈会場〉 ホルトホールおおいた

(9) 視察対応

①香港樹仁大学 Veronica Mak 准教授が来県し、椎茸市場視察や大分県椎茸農業協同組合との意見交換を行った。

〈日程〉 令和6年6月26日（水）



椎茸市場視察

②県国際政策課主催の留学生スタディツアーで、田染荘にて世界農業遺産についての研修およびウォーキングツアーを実施。中国、ベトナム等からの留学生16名が参加。

〈日程〉 令和6年11月6日（水）



スタディツアー

③滋賀県の農業遺産担当課職員2名が視察のため来県。ファンドの説明及びため池や七島蘭学舎での現地視察を実施。

〈日程〉 令和6年11月7日（木）～11月8日（金）

〈視察先〉 七島蘭学舎、美迫池 等



美迫池視察

(10) 椎茸のこま打ち体験学習

国東市安岐町にて、中学生を対象とした椎茸のこま打ち体験学習を実施。

〈日程〉 令和7年2月17日(月)～2月18日(火)

〈参加者〉 国東市立安岐中学校1年生3クラス



こま打ち体験

(11) 両合棚田植樹祭

宇佐市の両合棚田にて開催された植樹祭にて、世界農業遺産についての説明とクヌギの苗木の植樹を行った。

〈日程〉 令和7年3月8日(土)



植樹祭